

宮城県まちづくり実行委員会 活動報告

報告日：8月31日

報告者/労組名：佐藤政夫/さくら野労働組合協議会

開催日 2008年7月19日(土)

開催場所 仙台市戦災復興記念館

参加者 佐藤政夫

内容

参議院議員・桜井充が主催する中小企業立国の会の公開フォーラムが開催されました。講師として、ブランディングディレクターの安藤竜二氏の「地域を元気にするブランド戦略～サムライ日本プロジェクトから学ぶ～」講演と、桜井充氏がコーディネーターとなりパネルディスカッションが行われました。中小企業立国の会とは、県内の中小企業経営者が主な会員となり「まちづくりと地域発展」に向け取り組んでいる組織です。

『まちづくりフォトアルバム』



コメント

地域の特産品や観光などの取り組みとして、「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」を実施し、県内・県外に向け情報発信をしています。地域の小企業においては対応できないのが現状です。

その中で、複数の商店や企業が一つのブランドを立ち上げるため協力する「地域のブランド化戦略」には大きな意義があります。

コメント

中小企業はいくら良い商品があっても単品であれば売力が弱く、更に、ブランド化するにしても多額の費用を1社では負担できません。これを解決し成功したのが「サムライプロジェクト」です。

商品に自信があっても販路がなく売ことを諦めているのが現状です。

切り口を変えればビジネスチャンスが生まれます。



まとめ・感想

「サムライ」をモチーフに地域ブランドの想像・拡大を図ることが「サムライ日本プロジェクト」の考え方です。

地産地消という考え方がありますが、地域でできたものをその地域で消費しようという考え方、そして地域に受け継がれている産業を守っていこうということは、どの地域にもある昔からの歴史、ものづくりへの自信と技術。これは、地方のアイデンティティを見直し、地方の産業と生活に誇りと元気をつくりだす源となることを再確認しました。